

## 日本国文部科学省とボリビア多民族国スポーツ省との間の スポーツ分野における協力に関する覚書

日本国文部科学省とボリビア多民族国スポーツ省（以下「双方」という。）は、  
二国間のスポーツ連携における友好と協力の強化を望み、  
情報や知識交換が、二国間におけるスポーツ発展に有益であることを認識し、  
以下の認識に至った。

### 第1項 目的

この協力覚書（以下「本覚書」という。）の主要な目的は、利用可能な資源の範囲内でかつ国内の法律や規則に沿って、互惠主義と相互利益に基づく、スポーツ交流の発展を通じて、双方の連絡及び協力を促進する体制を構築することである。

### 第2項 協力分野

第1項の目的を達成するために、双方は、以下の分野における協力活動を実施する。

- a) スポーツ科学、技術及びスポーツ施設
- b) 競技スポーツ及びレクリエーションスポーツの発展
- c) 情報及びスポーツ文書
- d) スポーツ医学
- e) アンチ・ドーピング
- f) スポーツマネジメント
- g) 双方が本覚書において必要だと考える他の分野

### 第3項 協力形式

協力活動は、以下の方法で実施される。

- a) 本覚書に含まれる分野における、政府機関、組織及び個人間の交際並びに協力の促進
- b) 専門家及びスポーツリーダーの交流を通じた協力の奨励
- c) スポーツ団体の管理及び技術的な分野における、訓練された職員の技術的なアドバイスの交換

### 第4項 実施

双方は、会議、文書及び他の手段を通して、本覚書の下での活動の発展及び実施を共に決定する。協力活動は、参加する団体の間での協議によって計画され、実施される。

### 第5項 財政

本覚書の下で行われる協力活動の財政は、双方又は参加する組織の間での協議によって、適宜、事前かつ共に決定する。

### 第6項 他の同意

本覚書の下での協力は、日本国とボリビア多民族国が参加する国際的な合意や条約の下での権利及び義務に影響を及ぼさない。

### 第7項 修正

本覚書は、双方による相互の書面による同意によって修正することができ、そのような修正は、双方によって共に決定された日付より開始する。

#### 第8項 期間

本覚書の下での協力は、ボリビア側の署名後、日本側が署名した日付から開始し、4年間継続する。

#### 第9条 終了

他方からの通知を受け取った日から45日後に終了する。

本覚書の下での協力の終了は、双方によって共に別途決定されない限り、実行中のプログラムやプロジェクトの実施に影響を及ぼさない。

#### 第10項 相違

本覚書の解釈又は実施から生じたいかなる相違も、双方間での会議や文書、その他の通信手段を通じた直接の交渉の対象になる。

2017年10月10日に日本の東京で、同等の価値を有する日本語、スペイン語及び英語の言語による本書2通に署名された。解釈の相違がある場合には、英語の本書による。

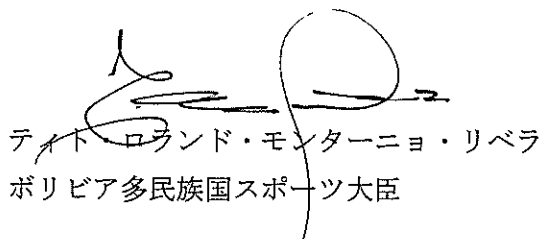
日本国文部科学省のために

ボリビア多民族国スポーツ省のために



新妻 秀規

日本国文部科学大臣政務官



ティト・ロランド・モンターニョ・リベラ  
ボリビア多民族国スポーツ大臣